



■校内陸上競技大会 大成功!!!

11月17日(金)、校内陸上競技大会が嘉手納陸上競技場で行われました。陸上競技場付近の朝の交通渋滞を心配していましたが、保護者のご協力もあり大きな渋滞はありませんでした。ご協力に感謝です。走・跳・投の記録への挑戦で、みんな頑張りました。閉会式では、学園祭バザーの売上として桃原PTA会長からiPad5台の寄贈がありました。またまた、感謝です。iPadでネット動画での勉強に大いに活用しましょう!!

■おきなわ国際協力人材育成事業報告

『OICyouth事業に参加して』2年8組 比嘉花菜

私は夏休みの10日間、沖縄国際人材育成事業の一環でモンゴルを訪問しました。モンゴルでは現地の社会保障や教育制度、政治体制などについて学びました。モンゴルは、私の想像以上に都会で高いビルや商業施設が立ち並んでいました。しかし一方で、道路の舗装や交通規制がされていなかったり、冬になると石炭による深刻な公害が発生するなど様々な課題がありました。現地での青年海外協力隊の活動の視察、ゲルでのホームステイ、現地の高校生との交流はとても大きな刺激をもらいました。この事業で学んだことを将来に生かし国際的に活躍できる人材になりたいです。



■沖縄県高校生芸術文化国際交流プログラム報告

○『アメージング台湾研修』2年1組 池原立貴

私は今回、平成29年度グローバルリーダー育成海外短期研修事業沖縄県高校生芸術文化国際プログラム書道部門として、台湾へ派遣されました。実際に現地へ行ってみると、見るものすべてが新鮮で、輝かしいものに見えました。現地の高校生との交流では、みな英語が上手で、中には日本語がペラペラな学生さんでも、自分や日本・沖縄とのレベルの差に、ただただ驚かされるばかりでした。



今回の研修で上達したと思える点は、「外国語を使って話す力」です。特に事前に勉強した中国語は、使っていくうちに研ぎ澄まされていくような感覚でした。

最後に私が伝えたいことは、「感謝」です。一緒に行動した派遣団のみんな、先生方、添乗員、家族、その他研修に関わった全ての人々の支えなしには、このような貴重な体験はできなかったと思います。本当にありがとうございました。非常感謝!

最後に私が伝えたいことは、「感謝」です。一緒に行動した派遣団のみんな、先生方、添乗員、家族、その他研修に関わった全ての人々の支えなしには、このような貴重な体験はできなかったと思います。本当にありがとうございました。非常感謝!

○『台湾での経験』2年6組 仲村渠 健登

私は、この研修に参加することができて沢山のことを学べました。まず、台湾の高校生との交流で英語の大切さを知りました。台湾の高校生は全員英語で話せてあまり英語を知らない私は、苦勞する場面もありました。グローバル化している社会で英語というのは、私の想像以上に大切なものなんだと実感できました。また、書道の面で学んだことは書というのは心で書くということです。心が一番大切と何度もおっしゃっていたので今以上にこのことを大切にしたいです。この研修に参加して、積極性や協調性、自分の意見を堂々と言う大切さなどを学び、沢山の経験と思い出ができました。このことを糧に自分の将来の目標に向かって頑張りたいと思います。

★本の紹介コーナー★

題名：日本人はどこから来たのか?
著者：海部陽介

昨年(平成28年)7月17日の早朝、2隻の草舟が与那国島を出航し西表島へと向かった。国立科学博物館「3万年前の航海徹底再現プロジェクト」による航海実験だ。



結果は残念ながら、潮の影響で大きく流され自力で到着はできなかったが、「貴重なデータが得られ、実験としては大変有意義だった」とプロジェクトリーダー海部陽介氏(国立科学博物館人類史研究グループ長、人類学者)は語った。その様子をテレビニュースで見て興味を持っていたところ、『日本人はどこから来たのか?』を知った。

本書は、「先祖たちのアフリカから日本列島に至る大移動の歴史を描き出すこと」を目的に書かれている。先祖たちとはホモ・サピエンスのこと。おおまかには、アフリカからヒマラヤを経て東アジアへ、そして、対馬、沖縄、北海道の3つのルートから日本列島へたどり着く、という流れだ。その沖縄ルートを考えたときに、先祖たちは台湾から与那国島、西表、沖縄本島へと航海をしたのであろうと考え、その検証が冒頭の航海徹底再現プロジェクトなのである。

沖縄県では、港川人、山下町洞人、ピンザアブ人(宮古島)、下地原洞人(久米島)など、3.5万年前から2万年前までの化石骨が沢山発見されている。奄美大島以南の土壌はサンゴ礁を起源としているアルカリ分で化石骨の保存に向いているとのこと、北海道から九州までは土壌が弱酸性なのでそうではない、とのこと。なるほど。そして「日本人の人類学者にとって、沖縄は聖地のような場所である。」とある。驚いた。最近「白保竿根田原(石垣島)、キリタリ洞(沖縄島)、ツツビスキアブ(宮古島)など新発見が相次ぎ、沖縄は今、旧石器時代研究の新時代を迎えている。」そうだ。本書の最終章「日本人の成立」には、琉球大学研究グループの2014年の研究成果として「沖縄・宮古・八重山諸島の現代人のDNAを解析したところ、少なくとも3万年前にこれらの島へ渡った旧石器時代集団が、そのまま各島の現代人になったというモデルは否定された。縄文時代以降に、九州方面から沖縄地方へ大きな集団の移住があったことが想定される」と紹介されていた。

人類学者の聖地、沖縄県。そして、木綿原遺跡のある読谷村。先祖たちが身近に感じます。